

SSH だより

第 13 号

平成 24 年 9 月発行



東京都立小石川中等教育学校

ふしぎ祭エンス

4月21日に行われた、「Tokyo ふしぎ祭エンス2012」に参加しました。

本校からは生徒10名が参加し、地学分野のポスター発表を日本科学未来館の会場で行いました。




金環日食観察会

5月21日の金環日食観察会には、500名の生徒が参加し、配布された材料で作った手作りの日食グラスやピンホールを用いて校庭で観察しました。また、屋上では、天文研究会を含む28名の生徒が写真撮影や気象観測などを欠け始めの6時19分から行いました。



サイエンスカフェ

学ぶ・語る・発表する・交流する・連携する場として『サイエンスカフェ』を下記のように実施しました。

開催日	講師	タイトル
5月28日	株式会社タブレイン 代表取締役社長 工学博士 高本孝頼氏	最先端で高度な情報技術をやさしく学ぶためのマイコン「Arduino」と3G シールドの活用
7月5日	昨年度コア SSH 事業サイエンス スタディツアー受講者5年生有志	Koishikawa' s chemistry class for the IB diploma.
7月6日	株式会社メックecoライフ 取締役社長 平生進一氏 三菱地所株式会社 環境・CSR 推進部 樫本真弓氏 他	「ディベロッパーってどんな仕事？」簡単業界ガイダンス&みんなで理想のマンションの間取りを作ってみよう！ 

物理チャレンジ

物理チャレンジとは、20歳未満で大学などの高等教育機関に入学する前の青少年を対象とした全国規模の物理コンテストで、国際科学オリンピックの1つである物理オリンピックの日本代表選考を兼ねているものです。

今年度、本校からは、第1チャレンジで3名が実験優秀賞に入賞しました。

第2チャレンジは、第1チャレンジの実験レポートおよび理論試験での成績によって選抜された選手約100名が進出し、本校からは、2名が出場しました。第2チャレンジは8月5日～8月8日に合宿形式でのコンテストとして岡山大学で行われました。

コア SSH サイエンススタディツアー

昨年度に引き続き、平成24年度も文部科学省からコア SSH の指定を受けました。

コア SSH 事業の一環として、8月6日～8月19日で南オーストラリア Adelaide にて理数系授業体験留学プログラム「サイエンススタディツアー2012」を実施しました。

今年度は、連携校として、東京都立科学技術高等学校と、筑波大学附属駒場中・高等学校の生徒も参加し、20名の生徒が国際バカロレア (IB) プログラムの事業を体験しました。



SSH 生徒研究発表会

全国の SSH 校が参加する「SSH 生徒研究発表会」が8月8・9日に横浜で行われました。

本校からは、化学分野で「陽イオン交換樹脂の研究」というテーマでポスター発表を行いました。

8月8日には、8名の生徒、8月9日には24名の生徒が参加しました。



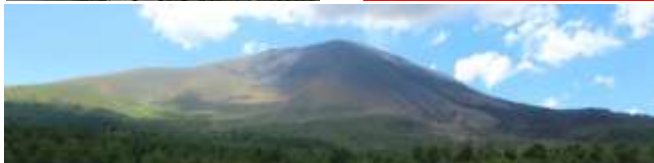
小石川と戸隠を結ぶ大地と生命

8月21～8月24日の3泊4日で、群馬県の嬬恋郷土資料館や、長野県の浅間火山（小浅間山、平原、黒斑山、賽の河原）、長野県戸隠の裾花川、地質化石館、紫友財団の土地、鬼無里（奥裾花溪谷）を訪れ、地学と生物の実習を行いました。

現地では、信州大学の先生や、戸隠地化石館の学芸員の方にご指導頂きました。



嬬恋郷土資料館では、天明3年（1783年）の浅間山大噴火に伴う、鎌原土石なだれの被害について学びました。災害から200年後の昭和54年の発掘では、鎌原観音堂の石段から被害者が発見された。



六里ヶ原休憩所から雄大な浅間山を望む。右側の鬼押し出し溶岩、中央の吾妻火砕流（1783年）と左側の追分火砕流（1108年）の溶岩の流れの様子を観察しました。



小浅間山（標高差250m）の山頂まで行き、パン皮状火山弾を見つけました。現在の高さは、約10mの平原火砕流の大露頭で、軽石のサンプリングを行いました。

2日目は、山体崩落をした黒斑山火山の内部を歩き、火山の大きさを実感しました。

戸隠では、裾花川の右岸で今から400万年前の貝化石を採集し、地質化石館でクリーニングをしてきました。（地学室前に展示中）4日目は、紫友財団の土地の植物を観察し、鬼無里（奥裾花溪谷）で、地形や地質構造の観察をしました。



生物オリンピック

日本生物学オリンピック 2012 の予選が、7月15日に行われ、今年度は昨年度より700名の増加となる3600名を超える全国からの応募者があり、本校の6学年の生徒が、上位5%以内に入るという成績で本戦に出場しました。

本戦は、8月17日～8月20日に行われ、本校の生徒が銀賞という成果を上げました。



今後の予定

11月17日	校内発表会	平成24年度SSH生徒研究成果発表会
12月23日	校外発表会	平成24年度SSH東京都指定校合同発表会
12月～1月頃	実習	生物 高大連携実習
3月13日	校内発表会	小石川フィロソフィー生徒研究成果発表会

小石川のSSH事業について

母体校・小石川高校は、平成18年から5年間、文部科学省からスーパーサイエンスハイスクール(SSH)に指定されました。平成23年度より引き続き、小石川中等教育学校としてSSHに指定され、平成23年度、そして平成24年度と続けてコアSSHにも指定されています。

平成23年度からの5年間は、「科学的思考力、自己学習力、コミュニケーション力を高め、国際社会に活躍するリーダーを育てる教育の研究開発」を研究テーマとしてSSH事業に取り組んでいます。

また、コアSSHでは、「国際的視野を持った理数系人材を育てる教育の在り方の研究～サイエンスに関わるグローバル・マインドの育成～」をテーマとして研究を進めています。

SSH事業とは

SSH(スーパーサイエンスハイスクール)事業とは、未来を担う科学技術系人材を育てることをねらいとして、高等学校等において、先進的な理数教育を実施するとともに、高大接続の在り方について大学との共同研究や、国際性を育む取り組みを推進し、大学、研究所、企業との連携を図り、理数系教育の指導方法を研究開発し、政府が提唱する「科学技術創造立国」を実現していくための事業です。

平成24年度は全国で178校がSSH指定校となっています。